

# 参考資料 1 | 公園概要資料

## 1. 東所沢公園の概要

### (1) 施設規模

全体面積 20,997.81 m<sup>2</sup> (公募対象は全体面積とします)

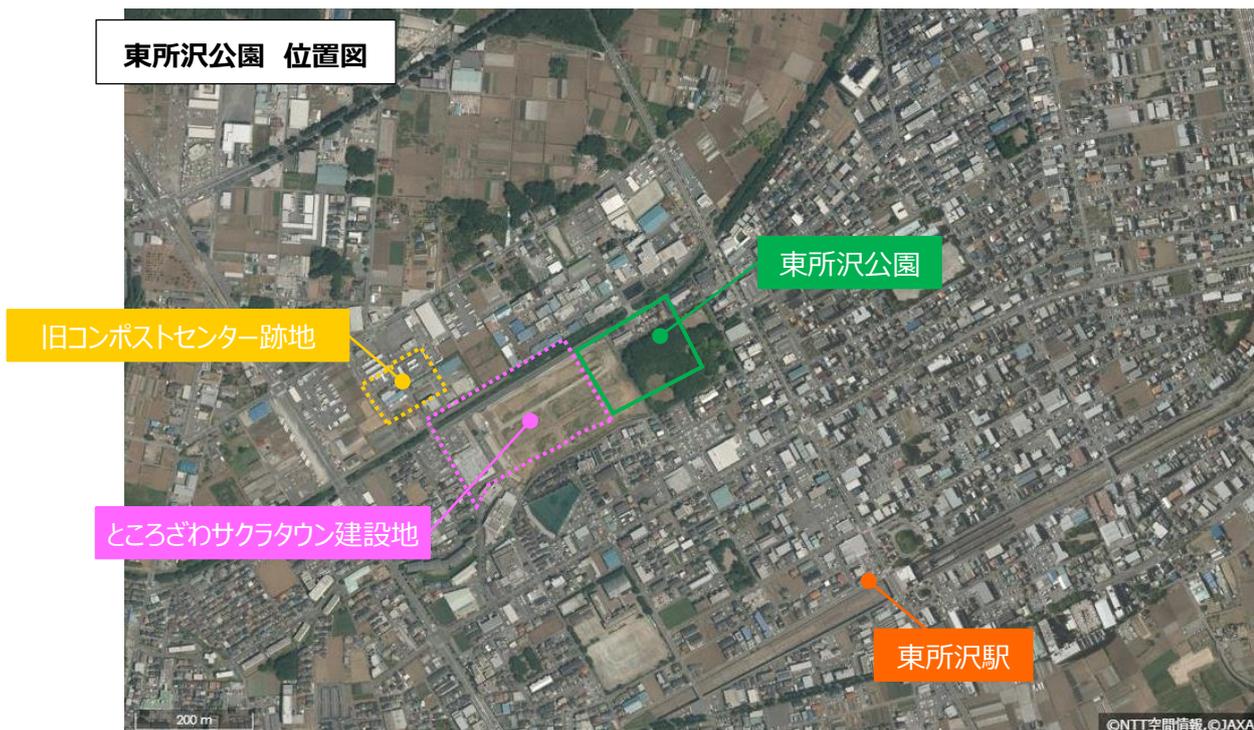
### (2) 施設周辺の現況と履歴

本公園の最寄り駅である JR 武蔵野線「東所沢駅」は、昭和 48 年 4 月に日本国有鉄道の駅として開業しました。現在は、通勤、通学等で 1 日あたり平均約 15,500 人が利用しています。

本公園の周辺は、昭和 20 年の所沢飛行場の接收や昭和 46 年の基地部分返還を経て、土地利用も変化し、宅地開発が進みました。

その後、昭和 46 年 9 月、東所沢土地区画整理事業により整備が始まり、昭和 57 年 10 月に都市計画決定され、平成元年 4 月に供用開始されました。所沢市松井地区の近隣公園として、現在も近隣市民に遊びと憩いの場を提供しています。

東所沢公園 位置図



### **(3) 施設の基本的性格**

東所沢公園は、『所沢市みどりの基本計画』において「市内のみどりの拠点」として位置づけられており、みどり豊かな自然環境を地域に提供しています。

公園施設の特徴として、中央には噴水が設置され、遊具の広場と芝生広場をつなぐ散策路が園内を廻っています。また、敷地の半分以上はみどり豊かな雑木林があり、街に大きなみどりを提供しています。

### **(4) 主要施設の構成**

管理棟、倉庫、トイレ、四阿、芝生広場、噴水、児童遊具、ベンチ、パーゴラ、水飲み場、インターロッキング等

### **(5) 都市計画上の規制等**

- ・都市計画公園
- ・市街化区域
- ・第一種中高層住居地域
- ・所沢市景観条例：住居系市街地景観ゾーン（色彩制限等あり）

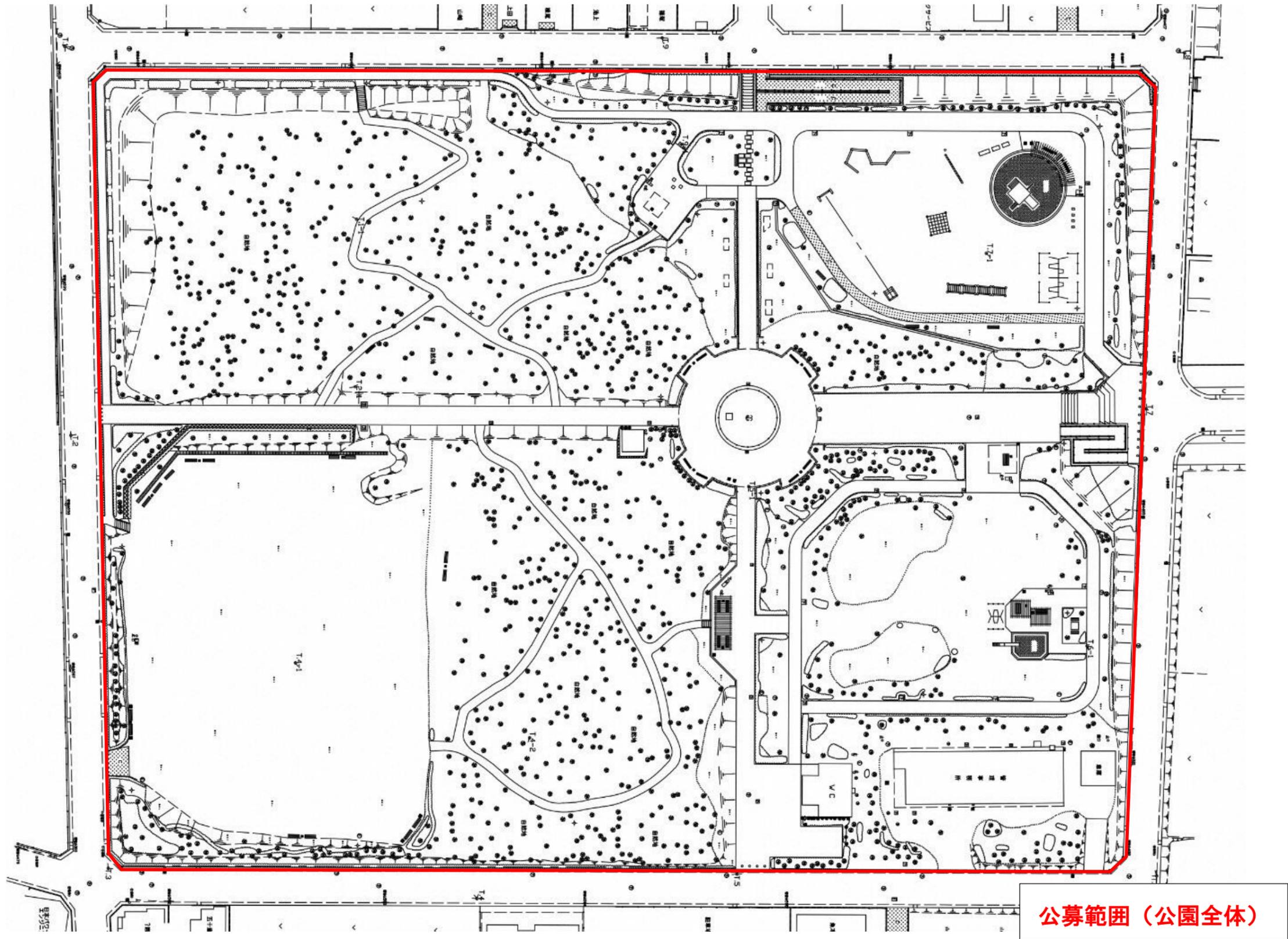
### **(6) 所沢市地域防災計画での位置づけ（震災対策編 P64「第4節 被災住宅の応急処理」）**

災害時において、応急仮設住宅の設置場所として、位置づけられています。

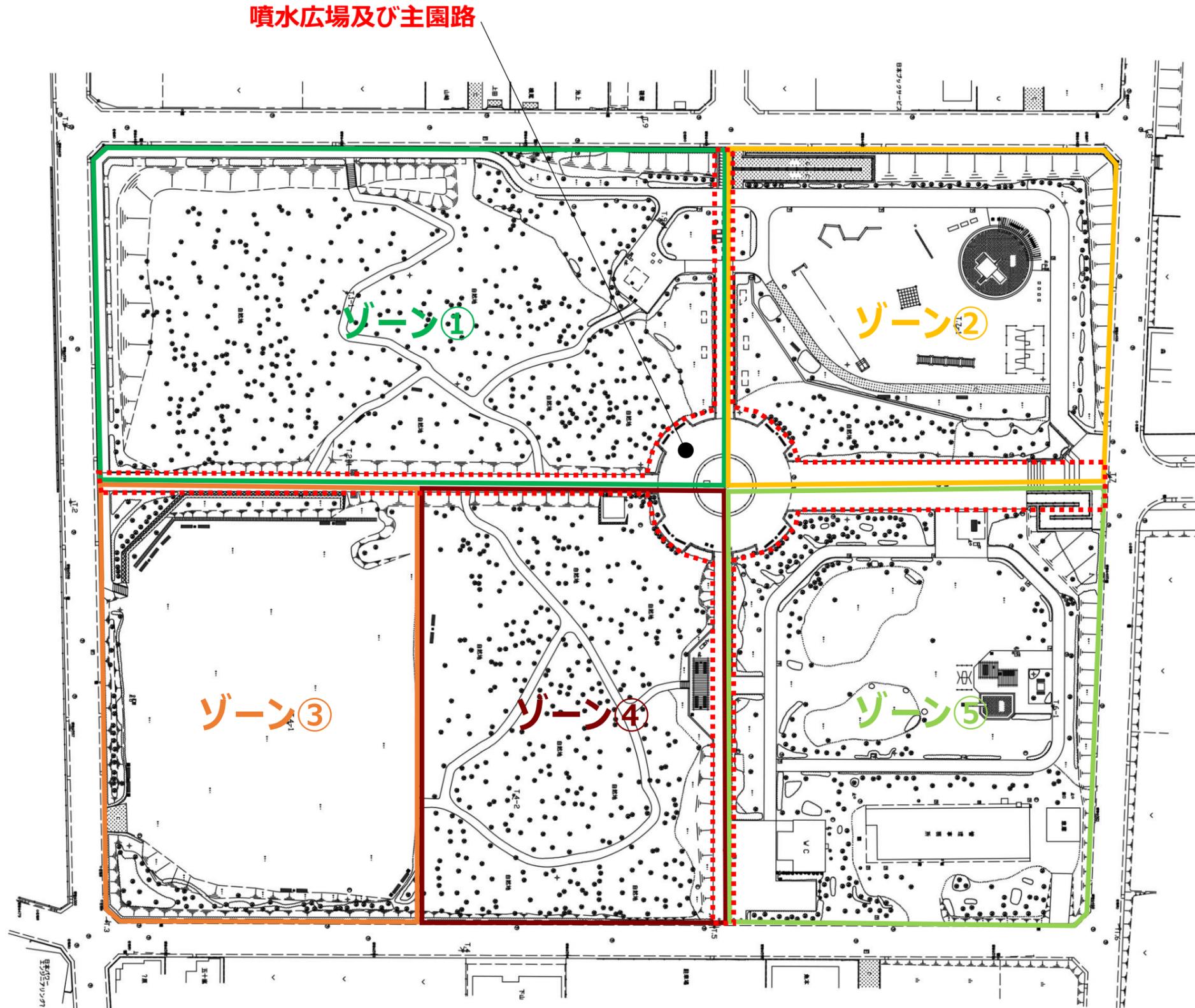
- ・設置可能面積：2,298 m<sup>2</sup>
- ・建設可能戸数：25 戸

（資料編 P190「応急仮設住宅の設置場所」参照）

## 2. 公募範圍平面図



### 3. 園内ゾーニング図



#### 4. 園内現況・周辺現況

##### ゾーン①

北西側の樹林地ゾーンである。高低差のある地形であり、樹木の密度は低く、全体的に明るい。四阿などにより休憩スペースが設置されているが、劣化・破損が著しい。



##### ゾーン③

芝生が一面に広がっている。主園路沿いに、ベンチを配置した休憩機能が備わっている。春の季節には「東所沢公園桜まつり」が開催されるほか、地元の自治会による自主的な利用も行われている。



##### 噴水広場



##### ゾーン②

ブランコ、スプリング遊具、すべり台等、大型遊具や児童遊具が配置されている。公園外周や遊具周りに死角となる樹木等はなく、開放的で安全な明るい空間となっている。



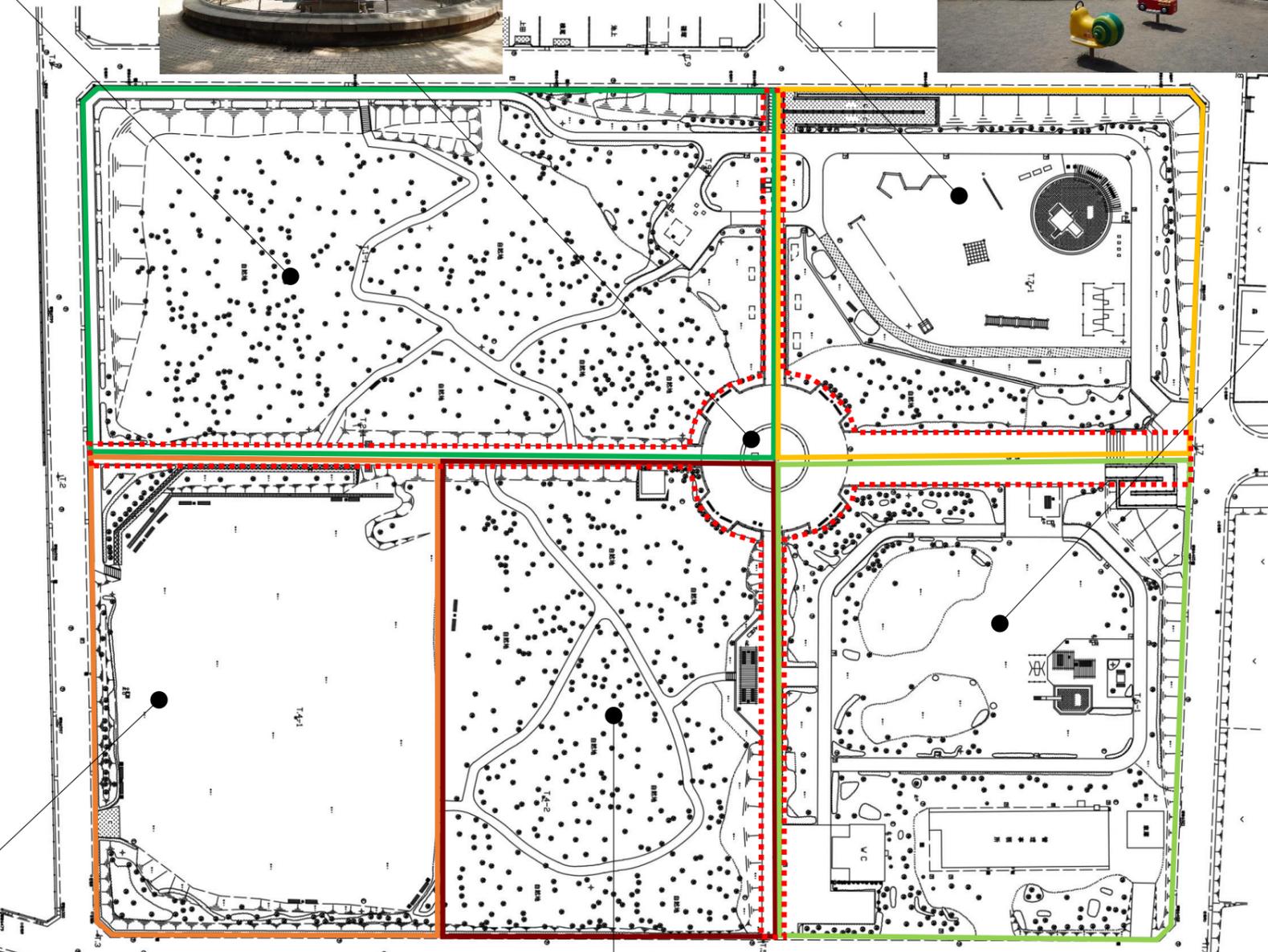
##### ゾーン⑤

樹木に囲まれた築山と広場がある。パーゴラやベンチ等の休憩施設とともに、すべり台や幼児用遊具等の遊戯施設が配置されている。南側には管理事務所と便所があるが、便所の劣化・破損は著しく、暗い印象となっている。



##### ゾーン④

南側の樹林地ゾーンである。樹林地内に細い散策路が廻らされている。樹木の密度はやや高く、薄暗い空間となっている。



東所沢公園は、JR 武蔵野線 東所沢駅が最寄駅となっています。東所沢駅前通り沿いに、徒歩約 10 分（約 750m）の距離にあります。公園周辺には、住宅地が密集しているほか、規模の大きなスーパーも立地しており、住環境として充実した場所となっています。

対象地の隣接地には、ところざわサクラタウン建設地があります。このほか、東川を挟んで北側には、旧コンポストセンター跡地があり、民間活力を活かした PFI 手法を用いた施設整備が検討されています。



周辺住宅地



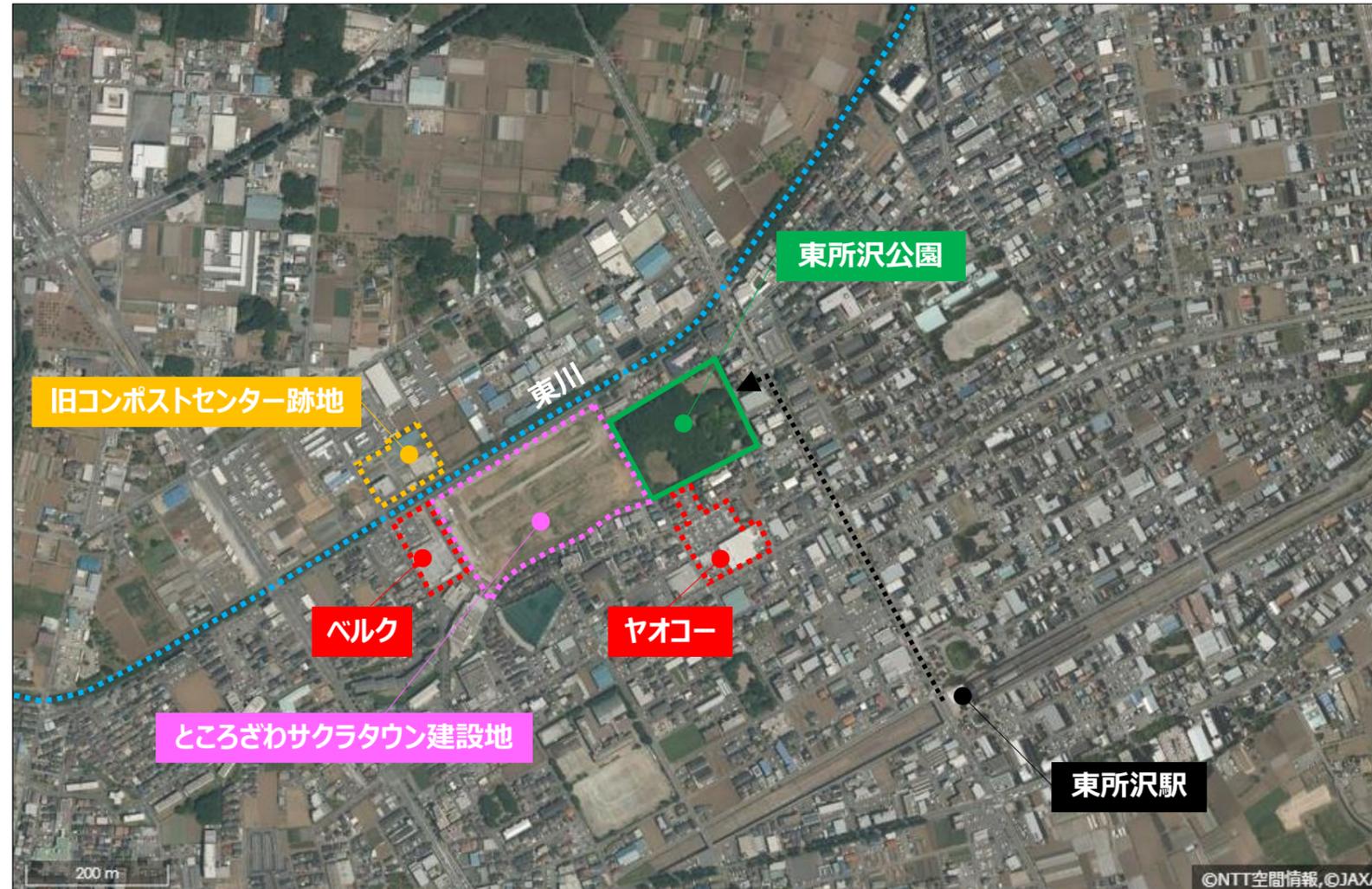
周辺住宅地



旧コンポストセンター跡地 整備イメージ



スーパー（ヤオコー・ベルク）



東所沢駅前通り



ところざわサクラタウン建設地



ところざわサクラタウン完成イメージ



東所沢駅 駅舎



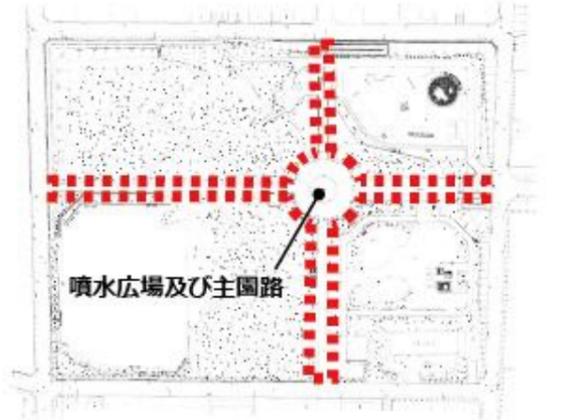
東所沢駅 駅前広場

5. 公園内施設の諸元

■噴水広場及び主園路

噴水広場及び主園路は、噴水を中心とした円形広場から東西南北に向かい主園路が延び、各々の主園路にエントランスが設けられている。東側主園路の中央には、平成22年に設置されたボール型の時計が建てられ、正門から噴水広場へ向かう時のランドマークとなっている。噴水は現在水を出していない。

主園路には意匠ウォール等で幾何学的な線形が表現され、小端積みウォール等で空間の統一性が図られている。しかし、それら施設の劣化が著しく、空間の演出効果が薄れている。また、南側主園路沿いの樹林地に入り込んだ休憩スペース下は苔が多く生え、施設の破損もみられる。



●北側エントランス  
石積み (H.1)  
ステンレス柵 (H.1)



●北側園路  
インターロッキング舗装 (H.1)  
ステンレス柵 (H.1)



正門車止め (H.1)



正門スロープ



西側園路石積み (H.1)



噴水広場木製ベンチ (H.22)



●西側エントランス  
インターロッキング舗装 (H.1)  
石積み (H.1)  
コンクリート車止め (H.1)



●西側園路  
インターロッキング舗装 (H.1)



●噴水広場  
タイル舗装 (H.1)  
意匠ウォール (H.1)



●東側園路  
インターロッキング舗装 (H.1)  
ソーラー時計 (H.22)



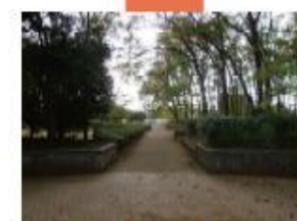
●正門 東側エントランス  
タイル舗装 (H.1)  
小端積みウォール (H.1)  
コンクリート車止め (H.1)



南側園路小端積みウォール (H.1)



南側園路小端積みウォール (H.1)



●南側園路  
インターロッキング舗装 (H.1)



噴水広場意匠ウォール (H.1)



噴水広場意匠ウォール (H.1)



南側園路水飲み (H.1)



南側園路木製ベンチ (H.22)



●南側エントランス  
インターロッキング舗装 (H.1)  
コンクリート車止め (H.1)



トイレ脇スペース

※( ) は、各施設の設置年を表す



### ■ゾーン1

北西側樹林ゾーンである。樹林内を散策路が廻る。樹木の立木密度がやや低く、林床の植生は殆どなく、全体的に明るい空間である。主園路沿いに四阿などによる休憩スペースが設置されているが、劣化・破損が著しい。

#### 〔施設内容〕

- ・アスファルト舗装 (H.1)
- ・平板舗装 (H.1)
- ・四阿 (H.1)
- ・ベンチ (H.22)
- ・スツール (H.22)
- ・水飲み (H.1)
- ・説明板 (H.1)

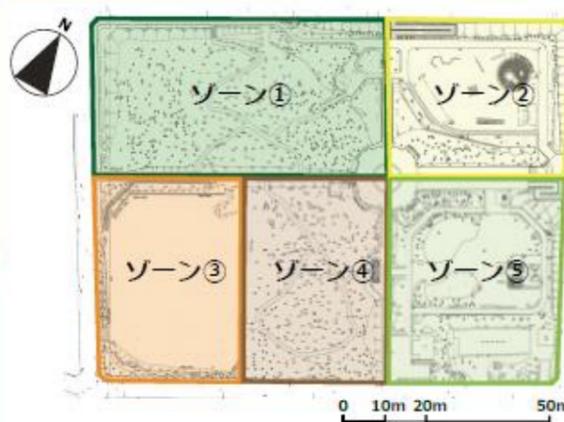


### ■ゾーン2

ダスト舗装に大型遊具や児童遊具が配置されたゾーンである。公園外周や遊具周りに死角となりえる樹木等はなく、開放的で安全で安心な明るい空間である。

#### 〔施設内容〕

- ・ダスト舗装・タイル舗装 (H.1)
- ・パーゴラ (H.1)
- ・ベンチ (H.22)
- ・ブランコ (H.22)
- ・滑り台 (H.22)
- ・木製遊具 (H.22)
- ・スプリング遊具 (H.22)
- ・その他遊具 (H.22)
- ・砂場 (H.22)
- ・水飲み・公園案内板 (H.1)



### ■ゾーン3

芝生が一面に広がるゾーンである。主園路に沿ってベンチを配置した休憩機能がある。芝生は踏圧等により一部はげている。

#### 〔施設内容〕

- ・ベンチ (H.22)
- ・水飲み (H.1)
- ・擬木階段 (H.1)
- ・利用注意看板 (H.1)



### ■ゾーン4

南東側樹林ゾーンである。樹林内を散策路が廻る。林床のササは低く管理されているが、樹木の立木密度はやや高く、全体的に暗い空間である。

#### 〔施設内容〕

- ・アスファルト舗装 (H.1)
- ・コンクリート階段 (H.1)

### ■ゾーン5

樹木に囲まれた築山と広場のゾーンであり、正面近くに休憩所を有する。パーゴラ等による休憩機能とともに、幼児用遊具による遊戯機能がある。南側エントランス近くの便所は、劣化・破損が著しい。また、南側道路に面し管理事務所と管理用スペースがある。

#### 〔施設内容〕

- ・インターロッキング舗装 (H.1)
- ・パーゴラ・休憩所 (H.1)
- ・野外卓 (H.22)
- ・ベンチ (H.22)
- ・滑り台 (H.22)
- ・スプリング遊具 (H.22)
- ・砂場 (H.22)
- ・便所 (H.1)
- ・水飲み・公園案内板 (H.1)

